

寺報

龍正寺

日なた 85号

物事に自信を

以てすれば

何事も

叶

→

日
延



<平成27年 6月>

宝龍会
護持会



平成27年5月5日
子供祈祷会
開催しました

宝雲山龍正寺(岐阜市)

みんなで記念撮影 ハイ!チーズ



願いが叶うといいなあ〜



大きな経本を持って
お母さんと一緒に…



お上人様からお供物を頂きました



絵本「黒牛の恩返し」



お供えを頂きながらのお話会



刀はこう作るんだよ



風船の剣で「エイ!ヤァ!」



よく飛ぶ紙飛行機だね

住職の一言

日々暑くなってきました。室内でも熱中症になりますので、十分に水分をとりましょう。

『物事に自信を以ってすれば“何事も叶う”
自分自身が事をしていいる時、自信を以って事を運べば“必ず”成就すると思えます。
なぜならば、私達の回りには仏様が守護して下さいていますから、一生懸命事を運べば“良い”事へ導いて下さいます。』

宗祖日蓮大聖人御遺文觀心本尊抄に
『今、本時の娑婆世界は、三災を離れ四劫を出でたる常住の淨土なり。仏に過去にも滅せず、未來にも生ぜず、所化以て同体なり。此即ち己心の三子具足、三種の世間なり』と示しておられます。

仏様(釈尊)過去・現在・未來においても生滅を示すことはなく教えを受け伝えられているのです。信仰の心を以てば火災・水災・風災からも脅かさ

れることなく、仕事にも、人間関係にも、家庭環境も、自分達の回りにも、恵まれ相手の事もおもいやりのある心が出てくる。

仏様のお説きになった、法華經如來壽量品第六、自我偈の中に『^に柔^り和^い質^き直』とあります、素直な心で仏の眞在を信じお教えを信ずる事、私したるの毎日が明るく楽しい人生を送る事が出来るのではないのでしょうか。

合掌する心は、信仰、敬いにつながっていくと思ひます、今私したるは『命に合掌』をスローガンに毎日を送っています、食事前・後に合掌し「いただきます」「ごちそうさま」をいいます、家族の輪が広がり、大きな愛にみちあふれてきますよ……

合 掌

“日々精進”

最近、仕事に追われイライラしていた自分がいます。仕事中に働かない、サボリたがる年上の方にイライラし、その人の行動をチェックし、注意する自分がいる。

イライラしているので言い方もきつくなる。

逆ギレする態度によけいに腹が立っている。

“悪循環” わかっているけど最近の私は、余裕がない

職場の若い子の方が小悟、している。「やってくれるだけでもありがたいと思っていた方が、自分がイライラしなくて済みますよ。期待するからイライラするので期待しないようにした方が、心乱されなくてすよ」

周りの20代の子が大人の理性があり、40～50代の私達の方が大人げないような気がした。

伝文方ひとつで相手も変わることに頭ではわかっているも、行動・言動には移せていないとつくづく思い知らされました。

感情的にならず 理性で対応できるように日々精進です。

=原因があった結果=

今月、私は、レポートを提出しなければいけなかったのですが、いつもの癖で嫌なことは後回しにしていました。

課題提出期限の4日前に計画書を出しました。

修正をしてもらう相手の仕事の都合を気にしていませんでした。蓋を開けてみたら、上司は、休みや夜勤等でずれ違い、直属の指導者もタイミングが合わないため、仕事の後に残って下さり、修正するのに午前3時までつきあってくれました。

正直、その時の私は、もう嫌だ、こんなことしたくない、逃げたいという思いもありました。

上司からは「出来ないのにギリギリの提出では、ためではないか」、「あなたは指導的立場であるということは、相手のことも考えて行動していかなければいけないレベルだね」

自分が何もしていないことで上司の時間を奪っていたのです。

自分の中の甘えがもたらした結果でした。

過去も同じ事をして中途半端で終わらせていました。

この事をきっかけに、つらいこの山を越えなければ、今の私の行動・思考は変わらないと思いました。

ここを越えれば楽になる、自信につながらるとわかっていても、目の前にある苦しみからどうしても逃げたくなる気持ちが出てきます。

周りでは、若い子達が逃げずに課題をクリアしていきます。自分は出来ない、苦手ということで逃げていた付けが、今だと思いました。

ここで受けてたのか、逃げてしまうのか。正念場だと思っています。

乗り越えれば「以外と「あれ、そんなに難かしくなかった、苦しくなかった」と思うようになるのではないかと気づける自分もいるのです。

自分の行動の責任、働かなくということの意味を認識させられた出来事でした。そういう気づきをした後、

この日なだを書いていた時に、働かない年上の人に対するの思いが、できました。よくよく考えてみると、年上の方は、私の鏡であるということ。

場面は違えども、逃げていることに変わりはなく、ゆくゆく私の姿は、その年上の方と同じ様な運命をたどっていたかもしれないと感じました。

目の前に起る現実。自分が考え、行動して
いる結果であるということ。

目をそらさず。向きあって 1つ1つ クリアしていきたい
です。

苦しむのも自分。楽にするのも自分。



誕生日



先月は 私の誕生日がありました。

誕生日を口実には、大好きなケーキをいただくのがいつも楽しみです。

今年も 家族から「もうすぐ誕生日だね」と言われて年甲斐もなく 嬉しい 気持ちになっている自分に気がつきました。

子どもの頃、誕生日を祝ってもらっていた記憶が、今でも こんな気持ちにさせてくれているのかもしれません。

結婚をして、自分が母親になりたての頃

「誕生日は産んでくれたお母さんに感謝をする日です」と誰かに教えていただきました。

自分も出産したばかりだったせいか、この言葉が心に染みて本当にそのとおり、と思いました。

その年の自分の誕生日には私から母へ花束を贈りました。花が届いた時、母は電話をくれて「やられた〜！」と言って喜んでくれました。

私は自分の出産の経験を通して たくさんの人に助けられた事を知りました。心配していただき、アドバイスをいただき、世話を焼いていただきました。

出産も子育ても 一人だったらくじけそうな時

誰かがいて下さった お陰で助けられていました。

その時は、母として 思いました。

私の子どもは、お腹にいる時も、産まれる時も
産まれてからも、こんなにも多くのありがとうを
伝えられずに過ごしているけれど、いつか自分で
ありがとうと伝えられる子どもに育って欲しいし
母として そのように育てたい、と願いました。

そして又、今の自分も同じ事なのだと思えます。

今の自分があるのは、自分の知らない時に
知らない誰かがたくさん助けて下さっていたお陰。

今年も誕生日という日を節目に、自分が又、成長
させていただくチャンスが与えられたのだと考えます。

脱皮、と言っては疲れますが歳を重ねる度に
パワーアップ出来る自分になりたい、と願います。
気づいていない ありがとう に感謝。

南無妙法蓮華経



… 誉める ♡ 認める …

久しぶりの休日か、お寺の例祭日に当たりうきうき気分
で準備をしていた時でした。

ラジオから母の日の話題で、あるリスナーの方からの話しか
流れてきました。母の日は寂しいと言う内容でした。

以前はとても仲が良い母娘が、娘から突然、音信不通
になりその原因が母親自身にあったと言う事を知り、苦
悩されていると言う内容でした。

娘さんは反抗期も無く、母親にとって自慢の娘だっ
たそうです。しかし、娘さんの気持ちは…。

お婿さんに聞いた時、「彼女は反抗期がありましたか？」
「お母さんは彼女を認めてあげたり、誉めてあげたりした
事はありますか？」と言われたそうです。

私はその言葉に、胸が痛くなりました。

以前に息子が言、た一言を思い出しました。

「どんなに頑張っても誉めてくれない！」と言う言葉でした。

息子はとても優しく気配りの出来る子です。

まさに自慢の子です。しかし、私は……。我が子自身を
誉める事は、増上慢にさせてしまうと思っていました。

それは娘に対しても同じでした。

私自身も誉めて貰う事など無く、叱咤を激励と思い
ハンガリー精神で生きてきました。

しかし、孫が何か一つ出来ると、頭を自分で撫でます。

そして同じ事をして欲しいと要求します。

初めは何をして欲しいのかよく分かりませんでした。

息子が「誉めて欲しいんだよ！」そうか…と孫の頭
を撫でると、御満悦で可愛い笑顔を見せてくれました。

そればかりか、同じ事を繰り返し誉めて貰いたいと、一

生懸命な姿に気がつきました。そうだ!! 大事な事を、

日蓮大聖人報恩会のこの日に導き頂けた事に感謝

の気持ちで一杯になりました。

頑張った努力を認めてもらえる事で、勇気・自信かっ

ます。そして、「また、頑張ろう!!」と力が漲り、ヤル

気があふれ出てきます。

心の中にはす〜っとこのラジオから流れてくる話しに耳を傾ける事が出来ました。そして、認める事、誉める事の大切さを痛感しました。

今回の気づきで息子・娘に心からごんげし、母として立派に成長した我が子をほめたいと思いました。導きを頂き、新たな気持ちで日蓮大聖人のお膝元へ参ります。'報恩感謝,'南無妙法蓮華経、

— 命の教育 —

去年の夏休み、子ども達とザリガニ釣りに行きました。私達が子どもの頃は、田んぼやどぶ川に必ずと言っていい程いたザリガニも近所では見当たらぬ。時間をかけて探したのを覚えています。

2匹つかまえて、育てていました。脱皮する様子も見せてもらい、1匹のお腹に沢山の卵も産まれたのです。冬眠の時期だったので、孵化した子どもたちはお母さんのお腹についてまま離れず、息子達も心配そうに見守っていました。暖かくなると、数匹が離れ、透明で小さな赤ちゃんはええきに泳ぎ出しました。子どもも日記に書いたり、毎日のように水溜をのぞいて大喜びでも、お母さんザリガニは体力消耗のためか死んでしまったのです。一番下の息子は「お母さんはたくさん赤ちゃんを産んだから疲れて休んでるんだよ」と言ってくれました。約1年間、子ども達にとって命の尊さや、母親が子どもを守る姿、共

食いをして生きていく姿（理解に苦しむ様子でした：が…）を見させてもらい、いい勉強をさせてもらえて：なあとザリが二に感謝です♡

最近、動物虐待のニュースを目にしました。無抵抗な動物を人間のエゴで殺したり、ストレス発散の捌け口にしてたりと、生き物（命）を大切に思う心が少ない大人達が増えてるのは、とても悲しい事ですよ。小さい頃から命について考えたり、命とふれ合う環境作りをしていく事は大切なんだと感じました。生き物を飼育したり、食物を育てたりする事はつい面倒だ…と思ってしまいがちですが、それを通して得られるものは、大人が口で説明するより何倍も子ども達の心に残っていく気がします。

命の教育…家庭でも楽しんで励ましていってね！！

< 6月の行事予定 >

6月13日(土) 10:00~

宗祖日蓮聖人報恩会

6月17日(木) 10:00~

鬼子母尊神 } 祈禱会
七面大明神 }

大古久尊天祈願会

< 6月住職行事予定 >

6月8日(月)

協議員員会

宗務所(中津川)

6月11日(木)

寺院総会

宗務所(中津川)

6月22日(月) 23日(火)

再々行会

箱根

6月25日(木)

師恩会

三河

< 6月の予定 >

6月6日(土) 各々の時間で

清掃、準備

↓

12日(金)

↓

↓

6月13日(土) 法要終了後

片付け、準備

14日(日) 各々の時間で

清掃、準備

↓

16日(水)

↓

↓

● お知らせ ●

10月 お会式会に向けてお万燈作りの準備を
させていただきます。日頃の感謝の思いをお花に込め
皆さんで奉納させて頂きませんか? 詳しくはまた
ご案内させていただきます!!